［様式２］

杉並区立杉並和泉学園

令和４年度　バスケットボール部の活動方針・活動計画

令和４年５月６日

１　指導体制

顧問教諭等氏名	
顧問	師岡　真一　　主任教諭
顧問	坂野　春美　　教諭
顧問	

外部指導者氏名	資格等や経験	頻度
大貫　宏次朗 （杉並区部活動活性化事業）	JBA 公認Ｄ級 コーチ	週３

２　部員数　７年生３名　８年生４名　９年生１８名　合計２５名

（令和４年４月末現在）

	男	女	合計
７年	１	２	３
８年	３	１	４
９年	１３	５	１８
合計	１７	８	２５

３　年間目標

（１）学校の教育目標を受けた生徒像

〇チームの一員であるという意識のもと、どのような状況でも前向きにチャレンジし続け、「３Ｃ」Create・Communicate・Challenge の精神を高める。

〇互いを認め、互いに励まし競い合うことを学び、バスケットボールを通して、仲間と共に活動する社会性を身につける。

（２）大会などの到達目標

区大会、ブロック大会等の公式戦において、正々堂々と戦い一勝をめざす。

４　活動方針

（１）生徒の自主性・自発性を大切にした活動を行う。

（２）生徒間の暴力、教員の体罰等のないようにし、部員が毎日の部活動を待ち望む活動を行う。

（３）各教科等への学習意欲や責任感、連帯感の涵養等を目指した活動を行う。

（４）運動部活動において、生涯に渡り、心身の健康を保持・増進し、明るく豊かなスポーツライフを実現しようとする態度等を育む。

５　指導内容・方法

（１）体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（ＤＶＤ）を活用して、顧問、外部指導者、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

（２）外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

（3）事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

感染症予防対策として、用具使用前後の手洗い・消毒の徹底と三密を避けた環境をつくる。

6　活動計画

（1）活動日：火・木・金・土曜日、大会は日曜日になることが多い。

（2）活動時間：　平日　１６：００～１８：００（2時間）

休日　　９：００～１２：００（3時間）

（3）休養日：月曜日・水曜日・日曜日

（ただし、日曜日に大会がある場合は除く）

（4）年間活動予定

学　期	月	内　　容
1学期	4	通常練習
	5	杉並区夏季選手権大会 新体制づくり
	6	ユニフォーム作成（7年）
	7	ユニフォーム回収・ゼッケン張り替え（8年） ユニフォーム配布
	8	夏季休業中　基礎体力練習
2学期	9	杉並区研修大会
	10	杉並区新人大会
	11	
	12	冬季休業中　練習及び練習試合
3学期	1	
	2	
	3	春季休業中　練習及び練習試合

（5）参加予定大会

公式戦：区大会（夏季大会、新人戦）